

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立境高等学校
 学校長 酒井 敏彦

評 価 日	令和6年2月16日(金)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 重点目標の達成状況について</p> <p>○評価項目1のみがA評価となっているが、「話してみよう韓国語」で全国大会出場など、いろいろな場面で特色ある取り組みを行っている。部活動だけでなく、語学に関する特色ある取り組みについても積極的に発信していくべきである。</p> <p>○評価項目2・3・4については引き続きA評価となるよう取り組んでいただきたい。</p> <p>2 目標達成のための取組結果について</p> <p>○部活動においては、全日本で優勝(ヨット部)する部がでるなど、運動部・文化部共に活躍している。</p> <p>○境考学で培った探究活動を生かし、総合型選抜や学校推薦型選抜を活用し、4年制大学へ進学を決めている。</p> <p>3 具体目標の達成状況について</p> <p>○評価項目2・3において、学習状況や境考学への取り組みが、まだ十分ではないと思われる。進路目標を定め、自学自習できる生徒を育成することと、生徒が自ら課題を見つけ探究する力を育成することが、今後も継続して求められる。</p> <p>4 目標達成のために取り組んだ具体方策について</p> <p>○境考学の充実のために、外部と連携し活動を行っているが、まだまだ現地調査など深掘りが不足している。地域の企業や市役所など積極的に協力してくださるところは沢山あるので、ぜひ来年度は連携を強化して実りある境考学としていただきたい。</p> <p>5 その他</p> <p>○特になし</p>	<p>○英語科と韓国語のALTが連携して取り組んだ成果と言える。英語、韓国語、中国語の学びについて、もっと発信していく。</p> <p>○教職員一丸となってA評価となるよう取り組んでいく。</p> <p>○インターハイ出場だけでなく、全国大会で優勝する部活動が出たことに喜びを感じる。今後もそれぞれの部活動において頑張らせたいたい。</p> <p>○大学進学において、一般入試でも合格できる力を付けさせる必要がある。</p> <p>○境考学は本校の取り組みの中でも大きな柱のひとつとなっている。単なる調べ学習で終わるのではなく、身近にある課題に着目し、解決方法を探る探究活動になるよう改善していく。</p> <p>○境考学成果発表会に参加された企業の方や市役所の各課の方々に行ったアンケートによると、協力する旨の回答をいただいております。来年度は是非生かしていきたいと考えています。</p>	